

令和元年10月10日
福祉保健部健康増進課
課長 下川 和夫
電話 055-223-1494
FAX 055-223-1499

報道関係者各位

山梨県の流行性角結膜炎の流行状況について (中北保健所峡北支所管内警報レベル入り)

令和元年第40週(9月30日～10月6日)の感染症発生動向調査結果は次のとおりです。

流行性角結膜炎の定点あたり報告数

中北保健所峡北支所管内における流行性角結膜炎の定点あたり報告数：**9.00**人※¹

警報レベル基準値である8.00以上となったことから、中北保健所峡北支所管内は流行性角結膜炎の警報レベル※²に入ったと考えられます。

流行が拡大する可能性があることから、別紙の予防対策を改めて県民に周知したいので、報道機関の皆様方にも御協力をお願いいたします。

※¹【中北保健所峡北支所管内】定点数2医療機関合計報告数18人 18人÷2医療機関=9.00人

※² 定点1医療機関あたりの報告数が8.00以上で警報レベル

(注意レベルの設定なし。定点あたり報告数が4.00を下回ると解除。)

【保健所別直近の定点あたりの報告数】

週	山梨県	中北	峡北	峡東	峡南※ ³	富士・東部	甲府市
40週 (9/30～10/6)	2.22	-	9.00	-	...	1.00	-
39週 (9/23～9/29)	1.33	-	3.00	-	...	3.00	-
38週 (9/16～9/22)	0.89	-	3.50	-	...	-	0.50
37週 (9/9～9/15)	1.11	-	3.00	1.50	...	-	0.50
36週 (9/2～9/8)	0.89	-	0.50	0.50	...	2.00	1.00

※³ 峡南保健所管内に眼科定点はありません。

※⁴ 前回の警報レベル入りは、富士・東部保健所管内の平成30年第23週(6/4～6/10)です。

●流行性角結膜炎とはどんな病気？

- ✓ アデノウイルスによる感染症です。
- ✓ 職場、病院、家庭内などの人が濃密に接触する場所などでの流行的発生がみられます。
- ✓ アデノウイルスは種々の物理学的条件に抵抗性が強いいため、強い感染力があります。
- ✓ 感染症法では定点把握対象の5類感染症に分類され、定点に指定されている眼科が、基準に基づいて診断した場合、保健所に届出がされることになっています。

●どんな症状があるの？

- ✓ 感染してから8～14日後に急に発症し、眼瞼(まぶた)の浮腫、流涙を伴います。
- ✓ 感染力が強いので両側が感染しやすいが、初発眼の症状がより強く、耳前リンパ節の腫脹を伴います。
- ✓ 新生児や乳幼児では炎症が強くなりやすいため、注意が必要です。

●どうやって感染するの？

- ✓ 接触感染です。ウイルスにより汚染されたティッシュペーパー、タオル、洗面器などに触れるなどして感染します。

●治療方法と予防策は？

- ✓ 流行性角結膜炎に対する治療は、対症療法的に抗炎症剤の点眼を行います。
- ✓ 予防の基本は接触感染予防の徹底であるため、タオルや点眼液など目に接触するものは個人用としましょう。
- ✓ 一般的な感染症予防策にもなる、手洗いによる予防も重要です。